

新年明けましておめでとうございます。平成 31 年山形村役職員新年会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆さまには、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えにいられたことと、心からお喜びを申し上げます。

本日は、衆議院議員の下条みつ様、務台俊介様はじめご来賓の皆さまには、ご多忙中ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

本日、恒例の平成 31 年山形村役職員新年会を開催いたしましたところ、日ごろ山形村の村政の運営にご指導、ご協力をいただいております役職員の皆さまにご出席をいただき、新年の祝賀会がこの様に盛会に開催できますことに深く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、地震や豪雨災害など、全国で自然災害が相次いで発生した年でありました。山形村でも梅雨明けが早く、また猛暑の夏でありましたので、農作物などへの影響のあった年でありました。

昨年 3 月には、村議会議員の選挙が行われ、新しい村議会が組織されました。全国的には、町村議会議員の成り手不足などが話題となった年でもありました。山形村議会は、議会改革に向けて、日曜議会を開催するなど様々な取り組みをされております。このことに対し、有権者の立場から敬意を表するところであります。

今年度、新規に取り組んだ主な事業を申し上げますと、子育て支援策の一環として、病後児保育と産後ケア事業をスタートいたしました。

村で一部を補助し区費で負担をいただいております防犯灯の電気料については、地域のコミュニティ検討委員会の意向もあり、全額村費で負担することにいたしました。

また、地域起し協力隊員を 3 名体制に増員いたしました。情報発信や観光振興などの分野で、活動が充実しております。後ほど 3 名の隊員を紹介させていただきますが、皆さまには協力隊員の活動にご支援をいただき、また育てていただきます様お願いを申し上げます。

本年 2019 年は、5 月には新しい年号に変わり、10 月には消費税が 10%に改正されます。平成の次の時代の幕開けであり、未来へ向かって確かなスタートを切る重要な年となります。

国の新年度の当初予算案は、過去最高の 101 兆円を超える大型の予算になる見込みであります。

少子高齢化社会を迎え、年々増加する社会保障費の医療・介護・年金に加え、新たに 10 月から幼児教育・保育料の無償化も予定されております。全世代型社会保障改革が、どの様に村の財政に影響を与えるか注視しなければならないと考えております。

市町村の活力を示す一つの物差しが、人口だと思えます。

当村は、県下でも数少ない人口が増加する村でありましたが、平成 25 年をピークに人口減少の村に転じております。今年 1 月 1 日の村の住民基本台帳人口は、8,771 人で昨年同期と比べ 29 人減少しております。当東筑摩郡の人口も年々減少を続けております。

本日、清沢県議会議員にもご臨席をいただいておりますが、この4月には県議会議員の選挙が予定されています。これまでの東筑摩郡区は、一票の格差が拡大したことから、今回松本選挙区と合区され、松本市・東筑摩郡選挙区となります。

郡部から中核都市へ人口が流出していることの一つの現象であります。

当山形村も、これから急速に進む少子高齢化・人口減少の社会へ向け、どのような施策が必要なのかを真剣に考えなければならない重要な課題であります。

新年度は、老朽化が進むふるさと伝承館やスカイランドきよみずなどの公共施設のあり方について、維持管理の業務委託や指定管理、また施設の廃止統合を含め、将来に向けて総合的に検討を行ないます。

これからの時代に対応する新しい事業も必要になって参りますので、前例にとらわれない柔軟な発想で、何を削り、何を残すか、一つ一つの事業を適切に評価し、継続的に事務事業を改善できるシステムの整備と、組織の財産であります人財の育成に努めて参ります。

また、継続事業であります風食防止対策、地域コミュニティのあり方についても、それぞれ委員会の役員の皆さまと共に取り組んで参りますので、ご理解、ご支援をお願い申し上げます。

本日もご出席をいただきました皆さまには、住んで良かったと思える、住み甲斐のある、村民力の高い、村づくりを進めて参りますので、共にご尽力を賜ります様、お願いを申し上げます。

この後、山形村の今日の繁栄に多大なご尽力を賜りました3名の功労者に対し、山形村表彰規定により表彰をさせていただきます。

最後に、新しい年が皆さまにとって、また山形村にとっても希望に満ちた幸多い年であります様ご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。